

## 『天覧山・多峯主山の植物 夏編』刊行記念 自然写真展「愛しき夏の植物たち」を開催

飯能市教育委員会は『天覧山・多峯主山の植物 夏編』を刊行しました。刊行を記念し、令和元年6月15日（土）から7月28日（日）まで自然写真展「愛しき夏の植物たち」を開催します。

自然写真展「愛しき夏の植物たち」

<https://www.city.hanno.lg.jp/article/detail/3704/>



飯能市教育委員会は、市内に生息する植物の種類と分布を明らかにし「種」や植物群落を保護するための資料収集・記録を目的に、平成21～25年度の5年間、市内の植物調査を実施しました。この調査成果を普及・活用するため天覧山・多峯主山で夏季に見ることができる野草55種、樹木27種を取り上げ、生息環境や和名・科名などを掲載した『天覧山・多峯主山の植物 夏編』を刊行しました。本書は、観察しながら散策しやすいようフルカラーおよびハンディサイズにしています。

この度、刊行を記念し、植物の生態的特徴や魅力を紹介する自然写真展「愛しき夏の植物たち」を開催します。この写真展が植物散策のきっかけになるよう、花の色や形、環境条件などわかりやすく展示にまとめました。ご覧になった後は、是非、天覧山・多峯主山を訪れてみてください。

### ■『天覧山・多峯主山の植物 夏編』について

発行 飯能市教育委員会  
販売価格 300円  
販売場所 飯能市立博物館、飯能市役所生涯学習課  
飯能駅観光案内所ぷらっと  
仕様 A5サイズ、フルカラー48ページ

### ■自然写真展「愛しき夏の植物たち」について

期間 令和元年6月15日（土）～7月28日（日）  
会場 飯能市立博物館 展示ホール ※入場無料



## 『天覧山・多峯主山の植物 夏編』イメージ



### 本書の使い方 Manual

和名(別名)	科名	花期
オニドコロ (オニドコロ)	アヤメ科	4~5月
パイカツツジ	ツツジ科	5~6月

**生息環境**  
山 麓：登山道周辺  
林 内：森林の内部  
林 縁：林の端のところ  
草 原：一面に草のはえている原  
丘 頂：起伏の小さい、林縁のなだらかな地形  
道ばた：山へ入る前の道周辺  
あぜ：田の周辺に敷けた土手  
水 田：稲を作るために水をはった田  
湿 地：湿気が多くてじめじめした土地  
荒 地：荒れたままになっている土地  
やぶ：草や竹などが茂っているところ  
空き地：開けている土地

**インデックス**  
野草と樹木で類別し、色で分けました。

**撮影年月日 (提供単位)**  
2枚以上ある場合は写真内に(提供単位)も記載しました。

**樹高**  
高 木：樹高8~15m  
小高木：樹高3~8m  
低 木：樹高3m以下  
つる性：他のものに巻きつく

**木の性質**  
常 緑：一年中葉をつける常緑樹  
落 葉：冬にすべての葉が落ちる落葉樹  
半常緑：年間を通じて葉をつけるが、冬には葉が少なくなったり、葉が半枯れになったりする半常緑樹

### シャガ アヤメ科

生息環境：山麓/花：4~5月

2018.4.29撮影

高さ30~70cmの群生する常緑の多年草。葉は濃い、細い地上茎を出して増えます。葉には光沢があります。花は葉がかった白色で、大き約5cmです。散開して夕方ばかりみえます。花びらと同じように見えるがく片には明るいオレンジ色の筋線があります。古い時代に中国から渡来したといわれています。

### キシヨウブ アヤメ科

生息環境：道傍/花：5~6月

2018.5.15撮影

西アジア~ヨーロッパ原産の多年草。明治時代に輸入され、現在は各地の水辺に野生化して定着しています。根茎はよく発達し、高さ約0.5~1mになり、枝分れます。葉の中央にある葉脈が目立ちます。花はあざやかな黄色で、遠くからでも見つけることができます。

この件に関するお問い合わせ  
飯能市立博物館

電話/042-972-1414 FAX/042-972-1431 E-mail/museum@city.hanno.lg.jp